

# WEEKLY NEWS 2015 週報 通算 2183回 《41回》

第2640地区

## 和歌山東南 ロータリークラブ

<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>



世界へのプレゼントになろう

会長 平 平治、幹事 松浦 薫  
会報委員長 郷間博敏

例会日：水曜日 例会場：ミール華月殿  
第1・第2：18:30～(夜)  
第3・第4・第5：12:30～(昼)  
事務局 E-Mail  
a-rotary@coral.cypress.ne.jp

本日の例会  
6月1日(水)  
18:30～華月殿

- ・開会点鐘 平会長 ・君が代、われ等和歌山東南ローター、パーステイング
- ・出席報告(例会委員会) ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・会長挨拶 ・幹事報告 ・委員会報告
- ・行事 会員卓話「ことばのはなし～四つのテストを題材に～」 鯨坂恒夫会員
- ・閉会点鐘 平会長

先週例会報告 会場監督 楠見珠緒

ゲスト：紀三井寺 副住職 前田泰道様

### 会長挨拶

平 平治 会長



和歌山中ロータリークラブから熊本東南ロータリークラブへの義捐金の送金の依頼がありました。当クラブから熊本東南ロータリークラブへ責任をもってお送りしたいと思います。  
和歌山東南ロータリークラブ 会長 平 平治様  
平素は和歌山中 RC の活動に、ご理解・ご協力を賜りありがとうございます。  
本日、熊本地震災害義捐金を少額ではございますが、東南 RC 様のお口座に送金させていただきました。先日よりお願い申し上げましたように、姉妹クラブである熊本東南 RC 様にお届けいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

和歌山中ロータリークラブ  
会長 林 正 ・ 社会奉仕委員長 野際 健司

### 幹事報告

松浦 薫 幹事



- ① 2件お知らせが届いています。各テーブルに置いてありますので、お目通しください。  
・平成27年度和歌山駅前花壇の作業報告書・会計報告書  
・2015-16年度 ロータリー財団地区補助金振込の御連絡
- ② 今年度最終親睦夜間例会を6月24日(金)18:30～、華月殿にて開催いたします。  
会員の皆様・配偶者様のご参加、よろしくお願い申し上げます。

### ニコニコ箱

塩崎 和仁 会計



平君・前田泰道様、本日の卓話よろしくお願い致します。  
松浦君・前田副住職様 卓話楽しみにしています。  
稲葉君・副住職様、本日はお忙しいところありがとうございます。  
IDM D班残金・先週ニコニコへ入れ忘れていました。すみません。

### ロータリー財団

角谷君・前田副住職様、卓話有難うございます。

ニコニコ	米山記念 奨学会	ロータリー財団	東南育英会	45周年記念 BOX	
累計	1,754,000	143,000	241,000	58,000	592,560

出席報告	出席者	出席率
会員総数	46名	5/25
出席免除会員	5名	5/11
	26名	61.90%
	39名	95.12%



## 《委員会報告》

社会奉仕委員会報告 委員長 市川正夫



創立45周年記念の事業の一環として行いました和歌山電鐵貴志川線各駅ホームへのベンチ設置に係るロータリー財団への地区補助金の申請結果について報告いたします。事業費の半額を申請しておりましたが、ほぼ満額に近い額を認めて頂きました。

事業の公益性と各メディアでの報道、友誌への投稿記事等が後押しとなったようです。

当クラブ、ロータリー財団の竹中委員長様はじめ各委員の皆様、有り難うございました。

## 「副住職の西国古道徒歩巡礼記」 紀三井寺 副住職 前田泰道様



私の居ります紀三井寺は西国三十三所観音霊場の第二番札所です。

西国巡礼は、約1300年前に極楽往生を御利益として草創されました。紀州和歌山は三十三所の最初の三ヶ寺がある巡礼に縁深き国であり、和歌山市は四国八十八所遍路と西国巡礼が8の字の交点として交わる町です。

今から29年前、昭和62年に西国札所では、花山法皇中興一千年を記念して、札所から次の札所へと徒歩で法灯をリレーする行事が展開されました。これに刺激されて、この年の5月12日～6月25日まで、拙僧は単独で古道全行程を歩く古道徒歩巡礼を行いました。

大学時代に、友人を自死で失った悔恨や、僧侶としての行く末に不安を抱いての旅立ちでした。足の痛みや迷い道に悩まされながらも、色々な人との出逢いがありました。札所寺院で参詣者を待っているだけでは判らないことも教えられました。巡礼の醍醐味、観音様との出逢いは、点としての札所寺院にのみ在るのではなく、いやむしろ、線としての札所間の途次にあること、旅の僧侶の格好で道を歩くことが、一般の人から見ると日常の中に現れた非日常の様に映ること、逆に、巡礼に出ることで人は、非日常から人生を見直す機会となること、等です。

全行程を歩き通すことで、その円環のルートは拙僧の人生の結界となり、いつも心に観音様を念じて暮らすことが出来る様になりました。

今年から西国札所では、草創1300年記念行事が展開され、特別公開など行われます。西国巡礼に出られる絶好のきっかけかと存じます。

皆様の巡礼ご参加をお勧め申し上げて、つたない巡礼体験記を終えたいと存じます。